

理学部の思い出に一言

梅津 恒（化学教室）



早いもので定年退官の送別会に出席した回数が13回目で自分の番となりました。始めに、中央事務室の皆様、各号館の教職員の方々にはいろいろとお世話になり、無事退官できますことを厚く御礼申し上げます。思い出せば、理学部主催第一回技術系職員シンポジウム（大気汚染とボイラーについて）において発表の場をいただき、また、京都大学で行われた原子炉実験所の研究技術短期研究会への出席、ハワイ州ホノルル市での環太平洋国際化学会に化学教室の岩沢教授および同研究室の皆さんと同行した時には大変お世話になりました。また、化学教室においては危険物の保安講習、防火管理者、都公害防止管理者資格取得に大変な便宜をいただきました。こうした貴重な機会を重

ねることができ、多くの得るところがあったものと信じて疑いません。私にとって大変実りの多い充実した時であったと深く感謝しております。

レクリエーションでは、ソフトボールにおいて優勝したこと、バレーボールではカッチャンズチームでの練習と試合、植物園でのビアパーティーと懐かしく思い出されます。

平成3年3月15日から指導要綱が制定施行されることになっております。ボイラー室素酸化物指導基準において液体燃焼ボイラー100ℓ/時未満の基準値は97ppm。平成6年3月15日以降に設置されたものは48ppmとなり厳しくなります。理学部でもなるべく早く号館の集中化、重油からガス、電気ボイラーに改善する必要があると思います。また、教職員の将来に渡る健康管理のための環境、特に大気汚染に対しては総合的な公害防除施設、ガス洗浄装置を充実しNOX、SOXの基準値をオーバーしないようにしなければなりません。

残すところ1ヶ月程で理学部ともお別れしなければならないのですが、多くの先輩同僚の方々の暖かいご指導ご支援の賜と、心から御礼申し上げますとともに、理学部化学教室の皆様のご健勝と、より一層のご発展をお祈り申し上げます。